

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 熊西 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

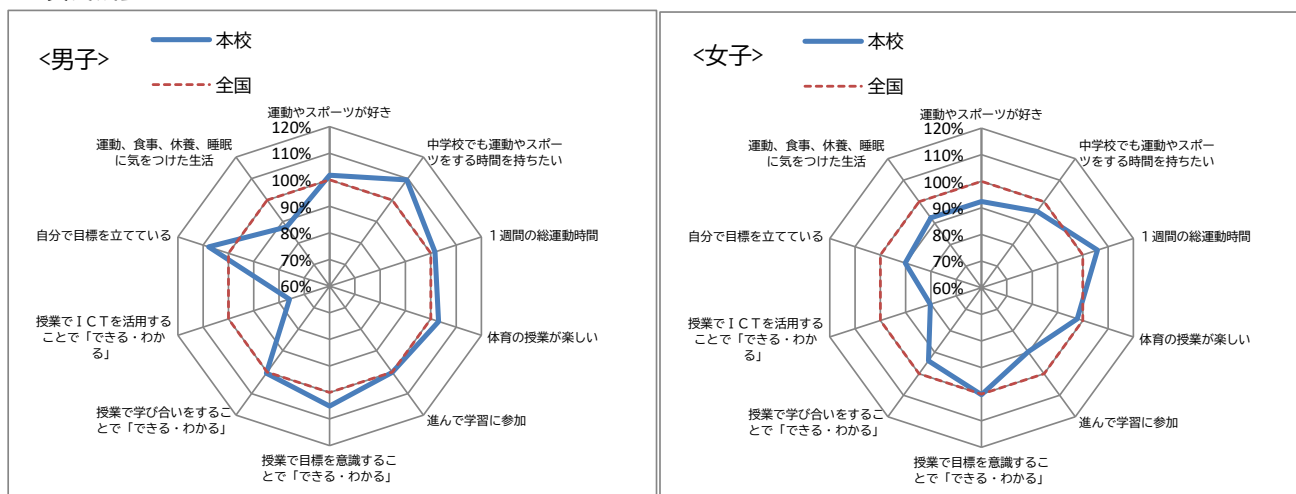
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査レーダーチャート



質問調査の結果分析

男子児童の運動をすることにに関する質問事項は、すべて全国平均を上回っている。実技調査の結果も、立ち幅跳び以外の結果は全国平均を上回っている。女子児童は、ほとんどの質問事項で全国平均を下回っているが、実技調査の結果はすべて全国平均を上回っている。1週間の総運動時間が多いことが、理由のひとつに挙げられると考える。児童全体では、「運動・食事・休養・睡眠に気をつけた生活」「授業でのICT活用」について前向きな回答が大幅に少なかった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

技能面をさらに伸ばしていくために、ICT機器を適切な場面で活用していく。自分の動きを確かめたり、友達からアドバイスをもらったりするなど、授業の中で教え合う時間を設けることで「できる」「わかる」という実感につなげていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度は、昼休みに大縄跳びに親しむ集会「ジャンピングロープウィーク」の取り組みを行った。興味のある児童が多数運動場に集まり、簡単なものからダブルダッチまで、自分が挑戦したい場所で大縄跳びを楽しんだ。自由参加だったため、参加していない児童も多数いた。児童の運動習慣のためには、日常的に全員が取り組める内容を、大縄跳びを基に考えて実践していきたい。